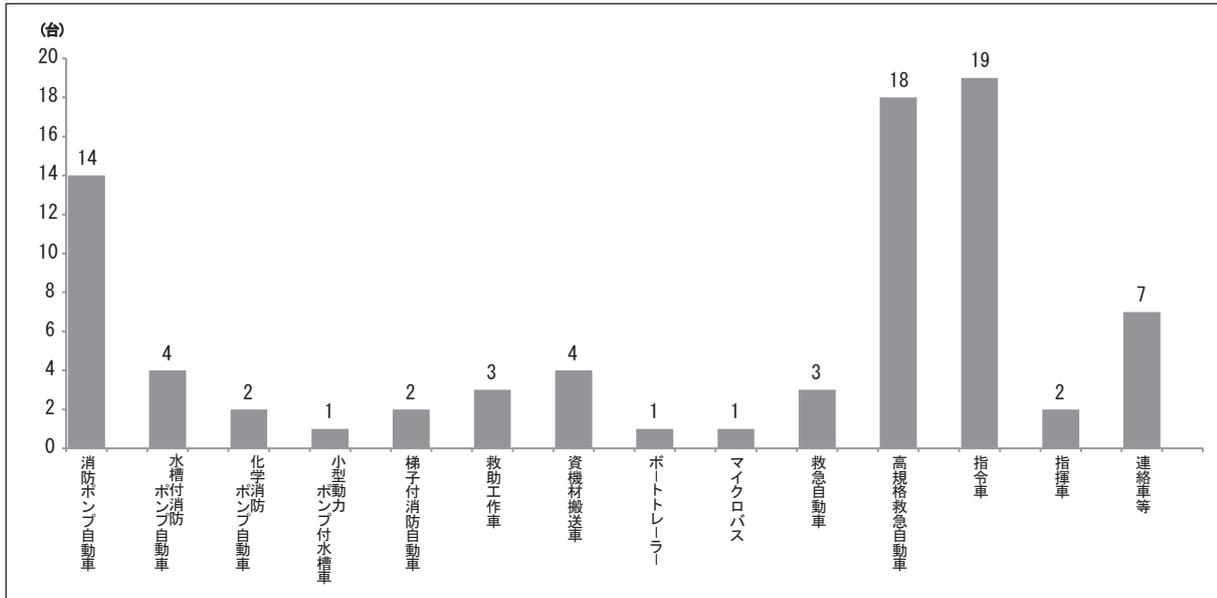


# 消 防



# 1 車両種別保有状況

(R 3. 4. 1)



# 2 車両配置状況

(R 3. 4. 1)

所属 車両	消 防 本 部	郡山消防署管内											田村消防署管内						合 計		
		分 署 等											分 署 等								
		郡山消防署	大槻	喜久田	熱海	日和田	田村	安積	湖南	中田	富久山	針生	田村消防署	移	三春	小野	滝根	都路		常葉	大越
消防ポンプ自動車	2				1	1	1	1	1			2		1	1	1	1	1			14
水槽付消防ポンプ自動車		1	1	1							1										4
化学消防ポンプ自動車	2																				2
小型動力ポンプ付水槽車												1									1
梯子付消防自動車	2																				2
救助工作車	1		1									1									3
資機材搬送車	3											1									4
ボートトレーラー	1																				1
マイクロバス	1																				1
救急自動車	1															1	1				3
高規格救急自動車	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1				1	1	18
指令車	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1			19
指揮車	1											1									2
連絡車等	7																				7
合計	8	17	3	4	3	3	3	3	3	3	3	2	9	1	3	3	3	3	3	1	81

### 3 消防車両出動状況

(R 2. 12. 31)

	出動回数	出 動 延人員	出 動 延車両	車 両 別					
				ポンプ車	タンク車	化学車	救 助 工作車	広報車	その他 の車両
火災	81	1,461	414	119	68	44	34	26	123
うち林野火災	8	161	44	21	8	2		5	8
風水害等の災害	4	17	4	2		1	1		
捜索 ※1									
誤報等	48	376	86	27	19	19	7	1	13
その他の出動	警察との協力 ※2								
	焼跡処理 ※3								
	公共作業 ※4								
	危険排除 ※5	83	391	99	24	31	33	4	7
	後方支援 ※6	262	1,209	302	147	60	36	38	5
	ヘリポート確保	50	161	50	23	3	6	1	16
	その他 ※7	191	1,132	267	76	56	59	38	10
小 計	586	2,893	718	270	150	134	81	31	
合 計	719	4,747	1,222	418	237	198	123	58	

- ※1 山岳遭難、水難、航空機又は船舶の遭難に出動したもの。
- ※2 水難事故等で時間経過から死亡が確定的となっている場合に出勤したもの。
- ※3 火災鎮火後、時間をおいて警戒に出動したもの。
- ※4 側溝等の排水作業、強風時の粉塵拡散防止作業に出動したもの。
- ※5 ガソリン等が流出し、二次災害防止及び流水汚染防止のため回収、除去作業等に出動したもの。
- ※6 救急出動や救助出動に伴い後方支援のために出勤したもの。
- ※7 「その他の出動」の各項目以外の内容で出勤したもの。

### 4 一般業務出向状況

(R 2. 12. 31)

	出向回数	出 向 延人員	出 向 延車両	車 両 別					
				ポンプ車	タンク車	化学車	救 助 工作車	広報車	その他 の車両
演習訓練 ※1	3,407	14,193	2,662	945	363	87	224	112	931
広報・指導 ※2	538	1,450	649	63	60	28	44	232	222
警防調査 ※3	506	1,615	534	59	20	24	29	83	319
火災原因調査 ※4	135	709	223	45	13	4	7	94	60
特別警戒 ※5	3,659	9,459	3,782	256	335	33	78	1,241	1,839
予防査察 ※6	2,154	6,609	2,206	283	285	89	38	365	1,146
合 計	10,399	34,035	10,056	1,651	1,076	265	420	2,127	4,517

- ※1 関係機関と合同で行う演習訓練で消防車両が出向したもの及び消防機関単独で訓練したもの。
- ※2 住民等が行う消防訓練に対して指導したもの。(消防操法指導を含む)
- ※3 地水利、危険区域、対象物調査等したもの。
- ※4 火災の原因、損害調査したもの。
- ※5 火災警報発令時、火災期、台風時、花火大会、祭礼等における火災等の警戒したもの。
- ※6 消防法令により、消防用設備の設置について規制される対象建物の立入調査したもの。

## 5 令和2年中の主な消防訓練

	月 日	訓練種目	訓練場所	参加 機関	参加 人員	参加 車両	ヘリコ プター
1	1月19日	文化財防火デーに伴う消防訓練	堂山王子神社(田村市)	7	48	5	
2	6月中旬	危険物安全週間に伴う危険物災害対応訓練	村田製作所(郡山市)	(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)			
3	6月中旬	危険物安全週間に伴う危険物災害対応訓練	日本化学工業株式会社福島第二工場(三春町)	(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)			
4	7月14日	田村消防署水難事故対応訓練	三春ダム	4	40	13	
5	7月29日	郡山市総合防災訓練(新型コロナウイルス感染対策に配慮した避難所開設訓練)	郡山市総合体育館	10	50	5	
6	9月6日	小野町総合防災訓練	小野町運動公園周辺	(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)			
7	10月4日	田村市総合防災訓練	都路行政局及び田村市立古道小学校周辺	(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)			
8	10月25日	三春町総合防災訓練	三春町立三春中学校	(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)			
9	11月5日	秋季火災予防運動に伴う事業所連携訓練	ホテル華の湯	2	60	10	
10	11月24日	福島県総合防災訓練(公助特化型訓練)	福島ロボットテストフィールド	26	200	23	1

## 6 各種協定

本組合の消防力のみでは、対処し難い大規模災害や本組合境界付近で発生した災害等に対し、円滑有効な消防活動を実施し、被害を最小限にとどめるため、下表のとおり応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っています。

### (1) 相互応援協定

名 称	締結年月日	締 結 先	応援内容
消防相互応援協定	昭和48年12月1日	双葉地方広域市町村圏組合消防本部 安達地方広域行政組合消防本部 須賀川地方広域消防本部 白河地方広域市町村圏消防本部	火 災 救 急
	昭和49年1月1日	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部	その他の災害
	昭和49年8月6日	いわき市消防本部	

### (2) 高速道路応援協定

名 称	締結年月日	締 結 先	応援内容
東北自動車道 消防相互応援協定	平成2年4月1日	須賀川地方広域消防本部 安達地方広域行政組合消防本部 白河地方広域市町村圏消防本部 福島市消防本部	火 災 救 急 その他の災害
磐越自動車道 消防相互応援協定	平成8年10月17日	安達地方広域行政組合消防本部 会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部 いわき市消防本部 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部	
あぶくま高原道路 消防相互応援協定	平成23年3月26日	須賀川地方広域消防本部 白河地方広域市町村圏消防本部	

### (3) 福島空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定

名 称	締結年月日	締 結 先	内 容
福島空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	平成5年3月20日	福 島 県	航空及びその周辺における航空機に関する火災、その他の災害に際して被害の防止又は軽減を図る。

### (4) 大規模災害等の応援協定

名 称	締結年月日	締 結 先	内 容
福島県広域消防 相互応援協定	平成9年12月26日	県内消防本部	大規模及び特殊な災害が発生し又は発生するおそれのある場合、消防本部が相互に応援体制を確立有効に対処する。
福島県広域消防相互応援協定に基づく避難指示区域内の広域応援隊活動方針	平成25年10月31日	県内消防本部	東京電力福島第一原子力発電所で発生した事故に伴い設定された、避難指示区域内における福島県消防広域応援隊の活動方針を定め、災害が発生し又は発生するおそれのある場合、消防本部が相互に応援体制を確立し有効に対処する。
福島県広域消防相互応援協定に基づく東京電力福島第一原子力発電所での多数傷病者発生時における広域応援隊の活動方針	平成25年10月31日	県内消防本部	東京電力福島第一原子力発電所で多数傷病者が発生し、双葉地方広域市町村圏組合消防本部の搬送能力を超えた救急搬送が生じた場合、消防本部が相互に応援体制を確立し有効に対処する。

### (5) 火災原因調査に係る相互応援協定

名 称	締結年月日	締 結 先	内 容
火災原因調査に係る相互応援協定	平成11年12月27日	県内消防本部	大規模火災及び相互応援体制による原因調査が必要と認める特異火災発生時に有効に対処する。

### (6) 建設機械等の貸借に関する協定書

名 称	締結年月日	締 結 先	内 容
建設機械等の貸借に関する協定書	平成11年4月1日	福島建機株式会社	地震、水火災等の災害及び事故並びに訓練の際に建設機械等を借受けすることに関する事。
消防活動等の協力に関する協定書	平成19年6月18日	Creative有限会社	地震、水火災等の災害及び事故並びに訓練の際に大型レッカー車等を活用し消防活動等への協力。

(7) ドローン等に係わる連携協力に関する協定書

名 称	締結年月日	締 結 先	内 容
ドローンに係わる連携協力に関する協定書	平成29年12月20日	株式会社 スペースワン	火災、地震、風水害その他の災害時や訓練など、ドローンの運用について相互の連携強化を図る。
ドローン等の産業用ロボットに係わる連携協力に関する協定書	平成30年2月1日	イームズロボティクス 株式会社	火災、地震、風水害その他の災害時や訓練など、ドローン等の産業用ロボットの運用について相互の連携強化を図る。

7 消防水利の現有数

(R 2. 12. 31)

	消 防 水 利 現 有 数				耐 震 性 貯 水 槽	合 計
	公設消火栓	公設防火水槽		小 計		
		40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上			
郡 山 市	3,578	76	412	488	15	4,081
田 村 市	472	369	206	575		1,047
三 春 町	303	33	206	239	6	548
小 野 町	162	33	45	78		240
合 計	4,515	511	869	1,380	21	5,916

●耐震性貯水槽

- 1 大規模な地震などの災害時に、飲料水の確保と火災時には消火用として活用できる水槽です。
- 2 この貯水槽は、水道管を太くした形で普段は常にきれいな水が流れています。
- 3 地震で配水管が壊れた場合、自動的に弁が作動し、水槽内の水が飲料水として確保されます。
- 4 貯水槽1基(50m<sup>3</sup>)で、約16,000人分の一日分の飲料水を確保できます。

○郡山市	希望ヶ丘団地	100m <sup>3</sup>	○三春町	みはる交流館まほら	80m <sup>3</sup>
	芳賀小学校	50m <sup>3</sup>		役場東側駐車場	100m <sup>3</sup>
	四ッ長公園	50m <sup>3</sup>		若松屋駐車場	80m <sup>3</sup>
	行健小学校	50m <sup>3</sup>		旧ヨークベニマル跡地(中町)	80m <sup>3</sup>
	開成山公園	50m <sup>3</sup>		三春中学校駐車場	80m <sup>3</sup>
	酒蓋公園	50m <sup>3</sup>		平沢工業団地	40m <sup>3</sup>
	香久池公園	50m <sup>3</sup>			
	西部公園	50m <sup>3</sup>			
	西ノ内公園	50m <sup>3</sup>			
	緑ヶ丘ふれあいセンター	50m <sup>3</sup>			
	郡山消防署	50m <sup>3</sup>			
	荒井中央公園	50m <sup>3</sup>			
	郡山駅西口広場	50m <sup>3</sup>			
	21世紀記念公園	50m <sup>3</sup>			
	芳山公園	50m <sup>3</sup>			